

数列チェック問題 1 解答例

【1】第 5 項が 8, 第 10 項が -7 である等差数列がある。

(1) 初項と公差を求めよ。

(2) -22 は、この数列の第何項か

(3) 初項から第何項までの和が最大になるか。またそのときの和を求めよ。

(1) 初項 a 、公差 d とおくと、

$$a_5 = a + 4d = 8 \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

$$a_{10} = a + 9d = -7 \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

$$\textcircled{1} - \textcircled{2} \text{より、} -5d = 15 \quad \therefore d = -3 \quad \text{、従って、} a = 20$$

(2) $a_n = 20 + (n-1) \times (-3) = -3n + 23 = -22$ として、 $n = 15$ より、-22 は第 15 項

(3) 和は正の項だけを足したときに最大になる。

$a_n = -3n + 23 > 0$ を満たす最小の自然数は、 $n = 7$ であるから、第 7 項までの和が最大になる。

ここで、 $a_7 = -21 + 23 = 2$ より、和は、

$$S_7 = \frac{7(20 + 2)}{2} = 77$$

【2】次のような等差数列の和を求めよ。

(1) 初項 2、末項 10、項数 10

$$S_{10} = \frac{10(2 + 10)}{2} = 60$$

(2) $2 + 6 + 10 + \cdots + 74$

この数列は、初項 2、公差 4 の等差数列なので、 $a_n = 2 + (n-1) \times 4 = 4n - 2 = 74$ として、 $n = 19$ 従って、末項 74 は第 19 項である。

$$\therefore S_{19} = \frac{19(2 + 74)}{2} = 722$$

【3】3 数 a 、 -1 、 b はこの順に等差数列をなし、 -1 、 a 、 b はこの順に等比数列をなす。

a 、 b の値を求めよ。

a 、 -1 、 b はこの順に等差数列なので、 $-2 = a + b \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$

-1 、 a 、 b はこの順に等比数列なので、 $a^2 = -b \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$

①より、 $b = -a - 2$ 、これを②に代入して、

$$a^2 = a + 2 \quad \therefore a^2 - a - 2 = 0 \quad (a - 2)(a + 1) = 0 \quad \text{よって、} a = 2、-1$$

従って、

$$a = 2 \text{ のとき、} b = -4$$

$$a = -1 \text{ のとき、} b = -1$$

【4】第3項が20, 第6項が160である等比数列がある。

- (1) 初項と公比を求めよ。
- (2) 640は第何項か求めよ。
- (3) 初項から第10項までの和を求めよ。

(1) 初項 a 、公比 r とおくと、

$$a_3 = a \cdot r^2 = 20 \cdots \cdots \textcircled{1}$$

$$a_6 = a \cdot r^5 = 160 \cdots \cdots \textcircled{2}$$

$\textcircled{2} \div \textcircled{1}$ より、 $r^3 = 8 = 2^3$ より、 $r=2$ これを $\textcircled{1}$ に代入して、 $a=5$

(2) $a_n = 5 \cdot 2^{n-1} = 640$ より、 $2^{n-1} = 128 = 2^7 \therefore n=8$ 。よって640は第8項

$$(3) S_{10} = \frac{5(2^{10} - 1)}{2 - 1} = 5115$$

【4】次の計算をせよ。

$$(1) \sum_{k=1}^n (2k - 3) = 2 \sum_{k=1}^n k - \sum_{k=1}^n 3 = 2 \times \frac{n(n+1)}{2} - 3n = n^2 + n - 3n = n^2 - 2n$$

$$(2) \sum_{k=1}^{n-1} (4k + 1) = 4 \sum_{k=1}^{n-1} k + \sum_{k=1}^{n-1} 1 = 4 \times \frac{(n-1)n}{2} + (n-1) = 2n^2 - n - 1$$

$$(3) 1^2 + 2^2 + 3^2 + \cdots + 12^2 = \frac{12 \cdot 13 \cdot 25}{6} = 650$$

$$(4) \sum_{k=1}^n (3k^2 + k - 2) = 3 \sum_{k=1}^n k^2 + \sum_{k=1}^n k - \sum_{k=1}^n 2 = 3 \times \frac{n(n+1)(2n+1)}{6} + \frac{n(n+1)}{2} - 2n$$

$$= \frac{2n^3 + 3n^2 + n}{2} + \frac{n^2 + n}{2} - \frac{4n}{2} = \frac{2n^3 + 4n^2 - 2n}{2} = n^3 + 2n^2 - n$$

$$(5) 1 \cdot 4 + 2 \cdot 7 + 3 \cdot 10 + \cdots + (\text{第}n\text{項}) = \sum_{k=1}^n k(3k+1) = \sum_{k=1}^n (3k^2 + k)$$

$$= 3 \times \frac{n(n+1)(2n+1)}{6} + \frac{n(n+1)}{2} = \frac{n(n+1)}{2} \{(2n+1) + 1\} = n(n+1)^2$$

(注) 4, 7, 10, ...は、公差3の等差数列より、第 k 項は $4 + (k-1) \times 3 = 3k + 1$

$$(6) \sum_{k=1}^n 4 \cdot 3^{k-1} = \frac{4(3^n - 1)}{3 - 1} = 2(3^n - 1)$$

$$(7) \sum_{k=1}^{n-1} 2^{k+1} = \frac{4(2^{n-1} - 1)}{2 - 1} = 4(2^{n-1} - 1) = 2^{n+1} - 4$$

(注) $4 \cdot 2^{n-1} = 2^2 \cdot 2^{n-1} = 2^{n+1}$